

草津市総合計画策定プロジェクトチーム会議概要

(リーディングプロジェクト研究チーム 第1回)

日時：平成21年4月21日（火）

18時から

場所：601会議室

1 開会

2 議事

リーディングプロジェクトの研究をしました。

3 閉会

資料

資料1: リーディングプロジェクトの研究について

リーディングプロジェクト 議事概要

① 10年後の草津市の理想像（求める姿）をブレストで各自が3つ程度提案

◆それぞれの提案意見をグループごとに括る

- ・県内で乗降客数が1位である草津駅に視点を置き、これをどう生かしていくのか。
- ・草津駅で降りた人間が周遊できるスポットがない。範囲が狭い。
- ・JR草津駅や草津田上インター・ジャンクションを有するなど地理的特性を生かしきれていない。
- ・駅前にレンタサイクルステーションを設置する。市内の施設にステーションを設置し移動できるようにする。
- ・昔から、宿場町として栄えたという割に（地理的優位性）宿泊施設が少ない。シーズンとなると京都の宿泊施設は満杯となる。京都へ近接している利点を生かす。いっそうのこと京都を利用する考えでいけば。
- ・生活の利便性は良い。それで終わっている。草津として自慢できるものがない。
- ・旧草津川の今後の利活用について今後中心市街地の活性化を図るのに大きなポイントとなる。
- ・定住を考えると快適な都市空間を形成する必要がある。そうすれば、人が集まるのでは。
- ・軽犯罪等の件数が多いことから安心して生活できるまちとする手段が必要。
- ・草津市として全国に誇れるなにかが欲しい。

キーワード

- ・住生活環境
- ・地理的特性、草津の強みを生かす
- ・中心市街地のあり方（公共交通体系の考え方、まちなか居住を本当に実行しようとしているのか）

今後の検討事項

- ・夢を描くが現実性のあるプロジェクトを考える必要がある。
- ・市民が誇れることができるまちとなるために行政として何をすればよいのかキーワードを基に検討する。